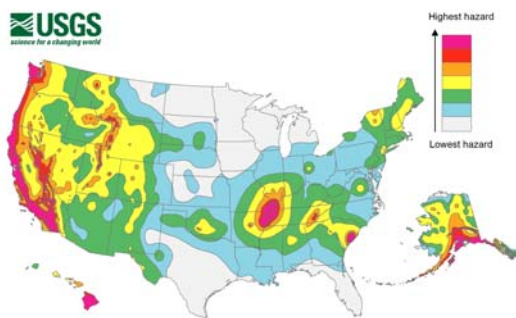


アメリカで地震の起きやすいエリアはどこ?

謹んでお見舞い申し上げます。

この度の熊本地震により被災された皆様に心からお見舞い申し上げますとともに、お亡くなりになられた方々の遺族の皆様に深くお悔やみ申し上げます。余震もまだ続く恐れと報じられておりますが、一刻も早い復旧を願っております。同時期に起こったエクアドル大地震の被害も大きく、改めて破壊力のある地震に対しどこまで備えられているか考え直す必要があると思った次第です。今回は米国における地震発生エリア、また地震特約をご紹介します。

アメリカで地震の起きやすいエリアは?



左のマップに示されるように、2014年の時点ではUSGSから下記16州がリスクが高いと発表されています。

Alaska, Arkansas, California, Hawaii, Idaho, Illinois, Kentucky, Missouri, Montana, Nevada, Oregon, South Carolina, Tennessee, Utah, Washington, Wyoming

【参考】USGS.gov “Simplified 2014 Hazard Map”

地震による被害は保険で補償される?

自動車保険

Comprehensive/Other than collision (衝突以外の車両保険)で補償対象となります。
※免責額適用。

テナント保険

弊社のご案内している標準パッケージでは、地震は補償対象外となっております。地震特約を追加することが可能ですが、州や保険会社によって特約の内容も異なりますし、補償上限、免責額等の補償内容はご契約内容により異なりますので、ご質問のある方はお気軽にご相談下さい。
(*個々のリスクによりご案内できない場合もありますことをご了承ください。)

Volume 7, Issue 4, April 2016

今月の英語

main quake [メインクウェイク]

本震

aftershock [アフターショック]

余震

地震リスクの高い州にお住まいの方

地震が起きた場合に備え、避難場所や緊急時の連絡先の確認、避難用具や非常食の確保をお勧めいたします。

DROP COVER and HOLD ON

地震に遭った時、ほとんどのケースにおいて次の3つを実施することで、怪我のリスクを軽減できるそうです。

DROP down onto your hands and knees

四つん這いは揺れで倒れることがないうえに、必要に応じて移動ができる姿勢。

COVER your head and neck

頑丈なデスクなどがあれば、デスクの下で一つの腕と手で頭と首を守り、もう一つの手でデスクの脚にしっかりと捕まる。デスク等がなければ上から落ちてくるものがない内壁の近くで低い体勢をとる。

HOLD ON to your shelter

揺れが収まるまで、シェルター(デスクなど)にしっかりとつかまる。揺れている間に外へ出たり他の部屋に移動することは危険。

[参考]earthquakecountry.org “How to protect yourself from an earthquake”

Loyalty Group Insurance Services, Inc. (LGIS)

3940 Olympic Blvd. Suite250 Erlanger, KY 41018

営業時間 月～金 8am-5pm EST (祝日除く)

お問い合わせ先

Phone: 877-LGISINC / 877-544-7462

Fax: 859-283-0138

E-mail: hoken@lgisinc.com

WWW.LGISINC.COM



お見積りから保険に関するご質問など
お気軽にご相談下さい!

